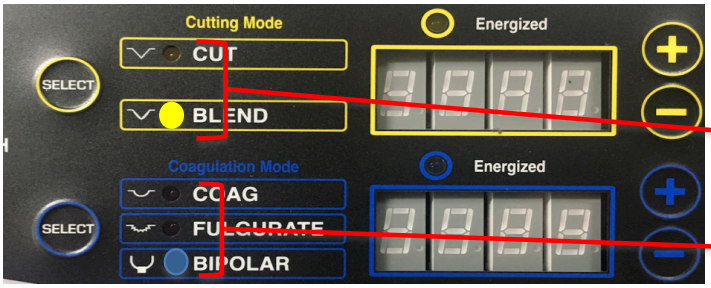
＜出力設定の例＞

バイポーラを使用する場合



バイポーラフォーセップの差し込み口は2本です。

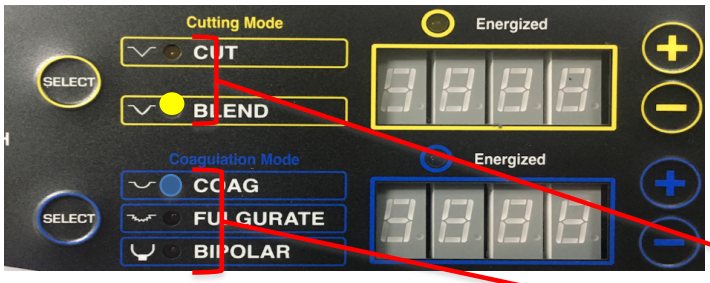
モノポーラ は使用しませんので、どちらの設定にされていても問題ありません。

ランプの位置が「BIPOLAR」に点灯しているか必ず確認してください。 他のモードだとバイポーラは出力しません。

こちら側の黄色スイッチは使用しません。通電音はなりますがバイポーラの出力設定ではないため、バイポーラの出力はしません。

青色のペダルを踏むと「BIPOLAR」が出力します。

モノポーラフォーセップを使用する場合



モノポーラフォーセップの差し込み口は1本です。

モノポーラ「BLEND」モードに設定してください。

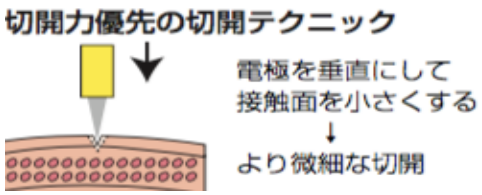
モノポーラ「COAG」モードに設定してください。

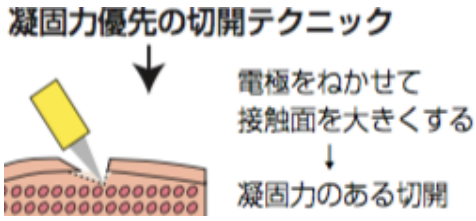
フットスイッチ黄色のペダルを踏むと「BLEND」が出力します。
※主な用途としては止血しながらの切開となります。

フットスイッチ青色のペダルを踏むと「COAG」が出力します。
※主な用途としては止血の処置となります。

【切開のコツ】

通電のタイミングは必ず、組織に接触させる前に開始してください。
（接触した状態で通電すると、RFエネルギーが分散されて切開力が低下します）
先端が触れるか触れないかぐらいの軽いテンションで浅く切開してください。
（押し付けると深く切開してしまい、出血が多くなります）
適度なスピードで切開するようにしてください。
（操作スピードが早いと切開はしますが、出血が多くなります）



【止血のコツ】

通電のタイミングは必ず、組織に軽く接触させた後に開始してください。
（接触前の通電は、RFエネルギーが集中して組織が切開されてしまいます）
止血の際は血液を除去し、出血点に軽く接触させてから行なってください。
（血液が溜まると血液によりRFが分散されるので効果が落ちます
また、軽く接触せずに押し付けるとRFの集中性がなくなり止血効果が落ちます）
鑷子を用いた間接止血の際は把持した部位を軽く挙上してください。
（挙上することにより、RFが集中しやすく止血作用が早くなります）